

党愛知
県議団

美術の祭典 魅力発信を 芸術文化センター(名古屋市)で

トリエンナーレの概要について説明を受ける党愛知県議団(右から6人)



公明党愛知県議団(渡会克明団長)はこのほど、名古屋市内の愛知芸術文化センター(青木幹晴センター長)を訪れ、先月に開幕した「あいちトリエンナーレ2016」の概要などについて担当者から説明を受けた。

あいちトリエンナーレは、3年に1度、同県で開催する国際的な現代アートの祭典で、今年で3回目。

今回は、県内11カ所に用意された会場(名古屋、豊橋、岡崎の3市)で、世界38カ

国・地域から参加している119組のアーティストが現代美術に加え、ダンスや演劇などの舞台芸術を展開する。

また、このイベントは、子どもをはじめ、参加者がアートを体感できる創作プログラムも盛り込み、文化芸術の普及・教育に力を入れている。

県議団のメンバーは、担当者から説明を受けた後、イベント会場で現代美術や創作プログラムなどを視察

した。渡会団長らは「SNの魅力を発信してほしい」
S(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を
と述べ、訪日外国人など観光客の誘致に取り組んで
活用して、積極的にイベントの姿勢を示した。